

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	45	事業名	商工会創生プランの管理			戦略コード	5	戦略名	環境変化に強い商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤慎也	施策コード	23	施策名	成果を重視した目標管理型運営の強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

PDCAサイクルを徹底し、事業の実効性を高めるために「事業評価研究会」を設置したこれまでの取組に加え、商工会創生プランを含めた今後の事業実施に当たっては、より一層成果重視の管理体制が必要となっている。

2. 事業のねらい

県連合会及び商工会の目標管理型運営を強力に推し進めていくため、評価機関の役割と評価の仕組みを定め、県連合会に「商工会創生プラン戦略・施策・事業評価委員会」を設置するとともに、商工会の業務全般を目標管理運営型にシフトし、成果を重視した仕事の仕方を定着させるための仕組みを整備する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

商工会アクションプログラムの管理については、既存の理事会や事業評価委員会等で行っているが、県連の「商工会創生プラン戦略・施策・事業評価委員会」の設置には至っていない。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

商工会創生プランに係る戦略・施策・事業評価制度を導入し、実施要領にて統一した評価基準を示した。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
104	商工会創生プランの管理	事業評価制度を導入し、県連合会・商工会の評価に関する審議についても実施要領に示し、評価委員会の設置を平成31年度に行う。	a	b	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

事業評価委員会の役割を明確にし、商工会創生プランの見直し・改善が一層加速することが期待できる。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

事業評価制度導入により、商工会創生プランやアクションプログラムを管理する仕組みを明確にした。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

事業評価制度は今年度は試行期間であるが、平成31年度の評価委員会開催にあたり、今年度中に前倒しで委員の選定を進めておく。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

事業評価実施要領の導入により、適性な評価を行い、商工会創生プランの見直し・改善を図っていく仕組みを構築した。

3. 課題

- ・事業評価の実施要領は本格導入後、現場からの意見を基に常に内容を検証し、見直し・改善を図る必要がある。
- ・委員会開催を令和元年6月(予定)としているが、委員の選定など前倒しで準備を進める。

4. 今後の対応方針(改善点)

商工会創生プランの進行管理やその基本システムとなる評価制度及び毎年度の評価結果に関して意見をもらうため、県や有識者、関係機関等で構成する評価委員会を設置する。